

「愛教労は、次の総選挙での政権交代とともに、次の要求を掲げます！教育現場を大きく変えよう！」

～子どもと教職員を守るために・愛教労の訴え～

2009年8月18日 愛知県教職員労働組合協議会(愛教労)

○総選挙にあたり、愛教労は以下の各要求を提案します。子どもと教職員を守るためにぜひ実現させましょう！

1. 現行の教育基本法を廃止し、1947年教育基本法にもどす。
 - ・不十分な論議で一方向的に決められた現行の「教育基本法」を日本国憲法との両輪であった教育基本法にもどす。
2. 教員免許更新制度を廃止する。
 - ・教員免許更新制度は廃止する。教職員の身分を尊重し、教育を司るにふさわしい条件を整備する。
3. 改訂学習指導要領等の強制をやめさせ、教育の自由を確立する。
 - ・偏った道徳や小学校英語の押しつけをやめ、子どもに基づいた学校ごとの自主的な教育課程づくりを尊重する。
4. 教職員を増やす。
 - ・ゆとりのある教育、一人一人の子どもを大切にする教育実現のためにOECD並みに教職員を増員する。
5. 教職員の賃金を大幅に上げる。
 - ・教育予算をOECD並に引き上げる。教職員の賃金をOECD並みに大幅に引き上げる。
6. 現行の教職員評価をやめ、教職員が自ら行う自主的な教員相互・自主評価を検討する。
 - ・教職員を不当に差別し、その教育的情熱を奪う「教員評価」を廃止する。
7. 「全国一斉学力テスト」をやめる。
 - ・子どもに負担を強い、不毛な競争と子どもの人権を侵害しかねない「学力テスト」は来年から廃止する。
8. 全学年での30人以下学級の実施。
 - ・義務制の全学年において、30人以下学級を実施し、近いうちに25人学級を実現する。
9. 教科書検定の廃止。
 - ・思想統制と戦争推進といわれる戦前の国定教科書を作るような現在の教科書検定制度をやめる。
10. 週あたり授業時間数を減らし、子どもと教職員の負担を減らす。
 - ・子どもの負担を減らすために、授業時数を減らし、ゆとりある教育を作り出す。
11. 教職員の膨大な、そして、無制限の長時間勤務をなくす。
 - ・教職員の膨大な長時間勤務を点検し、なくす。時間外勤務を厳しく制限し、教職員の健康を守る。
12. 臨時教員をなくし、正教員として採用する。
 - ・臨時教員をなくし、全て正式採用の教職員として、身分・賃金・権利を保障する。
13. 教育予算を増額し、父母負担を減らす。(少なくともOECD並のGDP比教育予算を)
 - ・OECD並みに教育予算を増やし、父母負担を減らす。憲法にあるように義務制の教育費は無償とする。
14. 高校や大学の過度・異常な受験競争を改善し、人間的成長を伴う教育体系を確立する。
 - ・高校全入、大学受験制度の改善などを通して、過度な受験競争をなくし、学びがいのある学校制度にする。

○教職員のみなさんに訴えます！

愛教労は、「総選挙にあたっての14項目の要求」をまとめました。そのどれもが緊急の対応を必要とするものであり、重要性を持つものだと考えます。また、8/11人事院は、今までにない下げ幅で教職員の生活を切り下げる勧告を行いました。総選挙を通して、真に子どもと教職員を守る政権を作り出そうではありませんか。